

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度 9 月補正予算 支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

事業名 自然公園等施設整備推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境エネルギー生活 自然環境課 自然公園係 電話番号：058-272-1111(内2922)
E-mail：c11269@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 30,600 千円 (現計予算額： 8,900 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	8,900	0	0	0	0	0	0	0	8,900
補 正 要求額	30,600	0	0	0	0	0	0	0	30,600
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

中部山岳国立公園内にある滝谷避難小屋の基礎を支える法面が洗堀されている。
このまま放置すると建物が倒壊し、登山者を巻き込む危険性があることや倒壊した建物(がれき)が河川へ流出する恐れがある。

(2) 事業内容

建物を解体し、撤去する工事を行う。
現地は、重機の搬入が困難な場所であるため、資機材をヘリコプターにて運び入れ、人力にて解体工事を行う。また、廃材は、車両が搬出可能な場所までヘリコプターで輸送する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県が設置した施設の撤去であり、県による対応が必要。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	30,600	滝谷避難小屋解体撤去工事
合計	30,600	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

各地域の自然公園計画に施設が位置付けられている。

(2) 国・他県の状況

- ・自然環境整備交付金事業（国補助事業）

国立公園、国定公園、自然歩道の施設整備を行う事業で、施設の一部修繕や解体撤去は対象外。よって他県でも同様に各自治体で対応している。

(3) 後年度の財政負担

継続して県管理施設の破損状況を調査し、危険な状態になっている施設を優先して修繕等を行う。

(4) 事業主体及びその妥当性

県管理施設の修繕等であり、県による対応が必要。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

倒壊の恐れがある滝谷避難小屋を令和8年12月までに解体、撤去し、登山者の通行時の安全性を確保する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

災害や老朽化で破損した県管理施設の修繕等を行う事業であり、指標等の目標を設定することになじまない。

（これまでの取組内容と成果）

令和5年度	・県管理施設である公園施設の維持工事、長距離自然歩道の施設点検などを実施し、自然公園関係施設の安全性の確認、利便性が向上した。 ・長距離自然歩道標識撤去工事、平湯園地休憩舎デッキ撤去工事 ・東海自然歩道公衆便所手洗い設備修繕工事
令和6年度	・県管理施設である公園施設の維持工事、長距離自然歩道の施設点検などを実施し、自然公園関係施設の安全性の確認、利便性が向上した。 ・エコミュージアム関ヶ原非常用照明機器交換工事
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和7年度	令和9年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	自然の中で活動できる登山やトレッキングを楽しむ人が増加傾向にある。利用者の安全性を確保するため、県管理施設の修繕等は必要である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	災害や老朽化で破損した県管理施設の修繕等を行っており、直接、利用者の安全性や利便性につながるため、効果は高い。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	県管理施設の維持管理を市町村へ委託することにより、破損施設の早期発見、早期修繕などが可能となるなど、事業の効率化が図られている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 過去に整備した施設の経年劣化が激しく、適宜修繕を実施していく必要がある。
--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 市町村と連携して破損施設を早期発見するとともに、危険な状態になっている施設を優先して修繕等を行い、利用者の安全性を確保する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	